

第18回 季刊刑事弁護 新人賞 募集!

自薦の場合=2020年8月31日(月)消印有効

他薦の場合=2020年7月31日(金)消印有効

*新型コロナウイルス感染症拡大により進行の遅れが発生したため、締切日をそれぞれ変更しました。左記は、変更された締切日です。

締切迫る!



副賞のフクロウの置物

刑事弁護活動レポート募集のお知らせ

本賞では弁護活動の結果は問いません。新人として悩んだり苦しんだりしながら、時には周囲の助けも得て、熱意や工夫あふれる弁護活動を展開するさまは、他の弁護士や弁護士を志す者の参考となり、ベテランに初心を思い起こさせることとなります。私たちはそのようなレポートを求めています。

これまでの受賞作は、以下のような点が評価されました。①事件の全体像を正確に把握している。②弁護人の主張するケースセオリー(あるいはアナザーストーリー)が明確に立てられ、そのケースセオリーに説得力がある。③捜査・公判段階において、刑事訴訟法の知識を利用した有効な弁護活動がなされている。④捜査弁護・公判弁護を通じ、弁護人の「努力」の跡が見られ、「情熱」を感じることができる。⑤独創性や工夫の跡が見られる。⑥一定の成果が見られる。⑦弁護活動が感銘を与え、新人弁護士をしてよい弁護への動機づけとなるようなものである。*第17回季刊刑事弁護新人賞の受賞作は、季刊刑事弁護101号9頁以下に掲載されています。

「季刊刑事弁護」編集部

【応募資格】

2020年8月31日現在で弁護士登録から5年以内の方(ただし、レポートで取り上げる事件は、登録から3年以内に受任したものであること)

【応募方法】

■自薦の場合 = 自分が担当した刑事・少年事件(起訴前・起訴後を問わず)から1つを選び、以下の要領でレポートにまとめて、氏名・修習期・連絡先を明記のうえ右記の送付先までお送りください。判決文等の参考資料がありましたら、それらも同封してください。

●構成

1. 事件の概要
2. 弁護のポイント等

●制限字数

8000字以内

メールで送付の場合はワードかテキスト形式で

■他薦の場合 = 候補者の氏名・連絡先・推薦理由と、推薦者の氏名・連絡先を、右記の送付先までお送りください(締切日にご注意ください)。本誌より候補者の方に、レポート執筆を依頼いたします。

【締切】

自薦の場合 = 2020年8月31日(月)消印有効

他薦の場合 = 2020年7月31日(金)消印有効

【発表】

本誌105号(2021年春号、2021年1月20日発行)誌上

【賞】

最優秀賞 1名 賞金10万円

優秀賞 2名 賞金5万円

特別賞 該当者がある場合 賞金3万円

*受賞者のレポートは、本誌に掲載いたします。

【選考】

本誌編集委員等で構成する選考委員会で選考します。

【レポート送付先・問合せ先】

〒160-0004 新宿区四谷 2-10 ハッ橋ビル7階

現代人文社「季刊刑事弁護新人賞」係

Tel:03-5379-0307 Fax:03-5379-5388

E-mail: shinjin-sho@genjin.jp

【協賛】株式会社 TKC



第17回季刊刑事弁護新人賞受賞者。向かって左側から、久保田洋平弁護士(最優秀賞)、興石祐司弁護士(優秀賞)、加藤聡一郎弁護士(特別賞)(2019年11月2日、TKC法廷教室にて)。

「季刊刑事弁護新人賞」支援のお願い

本賞を維持・発展させていくためには、本賞の財政的基盤を確保することが喫緊の課題となっております。

現在、ご支援を呼びかけております。

詳しくは、小社ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.genjin.jp/news/n20274.htm>